

2005年10月7日

平成17年度 冬期総合科目 D. 人間・環境一般
「エネルギー問題・地球環境問題を考える」
ガイダンス資料

実施日： 毎週金曜日5限(16:20 - 17:50)

場 所： 1101 教室

担当教員： 工学部 システム創成学科 環境・エネルギーシステムコース(システム創成A)
高橋 淳 助教授

連絡先： Email: jun@sunshine.naoe.t.u-tokyo.ac.jp

講義内容： 人類の営みと地球環境の調和、持続可能な社会の構築は21世紀最大の課題であり、これまで発展を遂げてきた現代文明が直面している極めて深刻、かつ人類の存続にかかわる最重要課題である。これらの課題を解決するためには、工学の要素技術や総合技術のみならず、環境・エネルギーの経済学や政策論等の視点も取り入れた総合的・学際的アプローチが必要である。本講義では、エネルギー問題・地球環境問題に関わっている工学部教員の話題提供をもとに、エネルギーと地球環境問題とその解決策を考える。

サイト： <http://www.si.t.u-tokyo.ac.jp/ee/index.html>
の総合科目案内の所に、レポート課題などをアップします。

関連講義： 夏学期総合科目、金曜5限(D.人間・環境一般)環境・エネルギー問題を考える
冬学期総合科目、火曜5限(B.国際・地域一般)原子力・エネルギーと国際社会
冬学期総合科目、水曜5限(D.人間・環境一般)地球に生きる
冬学期総合科目、木曜5限(F.数理・情報一般)持続可能社会実現のための海洋開発

講義予定：

回数	月/日	曜日	教員	タイトル
1	10/7	金	高橋	ガイダンス、エネルギーバランス・持続可能性
2	10/14	金	福井	地下空間利用
3	10/21	金	徳永	地下環境問題
4	10/28	金	山富	地球史から見た環境・エネルギー問題
5	11/4	金	鈴木(英)	海洋空間利用
6	11/11	金	早稲田	地球温暖化と気候変動のメカニズム
7	11/18	金	多部田	海洋環境問題
駒場祭	11/25	金		休
8	12/2	金	田中	核燃料サイクルと放射性廃棄物処理
9	12/9	金	島田	CO2固定 - 技術と社会受容性 -
10	12/16	金	小川	核融合最前線
11	1/6	金	鈴木(晶)	水素エネルギー最前線
12	1/13	金	吉田(好)	環境経済
試験準備	1/20	金		休
13	1/27	金	湯原、他	政策実務担当者を交えたパネルディスカッション

成績評価： 出席点5割、レポート点5割

出席点： 毎回配付・回収する講義アンケートで出席をチェックするので、必ず提出すること(なお、アンケートの内容は成績に反映されないので、自由に記入してよい)。

レポート： 各教員がレポート課題を提示する(上記の本講義サイトを随時参照のこと)ので、合計2課題を選び、出題教員名を明記して(特に指定のない場合)それぞれA4版3枚以上のレポートとして提出すること。2006年2月3日(金曜日)必着で、高橋助教授宛にメールの添付ファイルで提出すること(メール添付で提出できない人の提出方法は講義サイト参照のこと)。

以上